

試験方法

1 条件

- ・住宅用環境実験棟にて、外気温度・外気湿度を夏の熱帯夜程度※1に設定。
- ・実験ハウス内のエアコンを、27°C設定。
- ・被験者の着衣は室内での夏の軽装とし、20分間椅座安静後、試験を開始。

※1 外気温度30°C、外気湿度68%（アメダスデータの昨年8月中旬の17時～24時の平均程度）。

2 試験方法

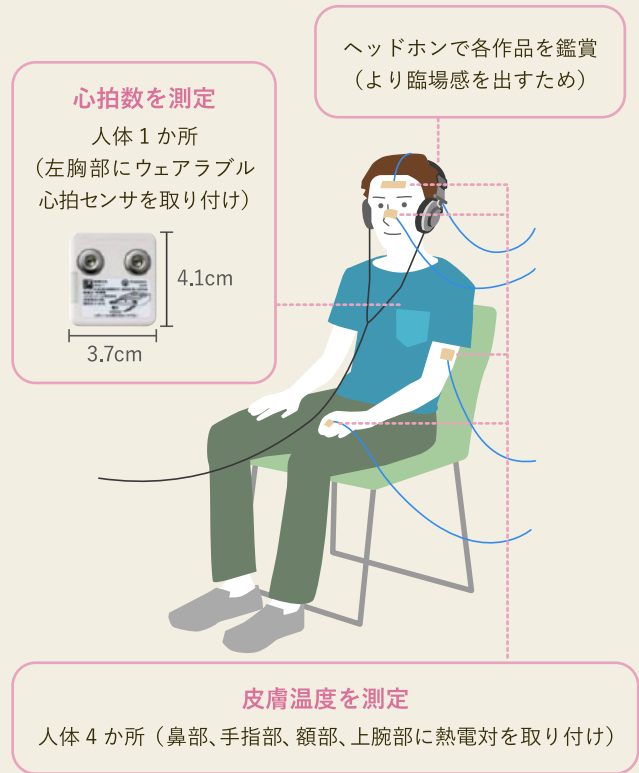
- ① ・ホラー1本、コメディ1本（各15分程度）を被験者8人に鑑賞してもらい、鑑賞中の被験者の皮膚温度と心拍数を連続測定。
- ・皮膚温度は、人体4か所（鼻部、手指部、額部、上腕部）で測定※2する。測定には、熱電対を用いる。皮膚温度の分布はサーモグラフィで撮影。

※2 **鼻部、手指部** — ストレス（恐怖、不安、緊張などによる情動・精神負荷時）に伴う皮膚温度低下が現れる末梢部位

額部、上腕部 — ストレスに伴う皮膚温度変化がほとんどない体幹部位（末梢部皮膚温と比較して、体幹部皮膚温はストレスにともなう変化がほとんどないとされている。）

- ・心拍数は、人体1か所（左胸部）で測定する。測定には、ウェアラブル心拍センサを用いる。
- ・各作品鑑賞後に、被験者にアンケートを取る。

- ② ・ホラー1本、コメディ1本を再生し、再生中のテレビの消費電力を連続測定する。測定には、パワーメーターを用いる。



3 測定項目

- ① 人・・・皮膚温度、心拍数
室内・・・温度・湿度

- ② テレビ・・・消費電力

4 評価方法

- ① **ア** 皮膚温度、心拍数

鑑賞前と鑑賞中の差について評価。

「(鑑賞中の値)-(鑑賞前の値)」について、ホラーとコメディで有意な差があるかないかを、統計的に検定。

- イ** アンケート調査

鑑賞前と鑑賞中の体感

「鑑賞前より涼しくなったか？暑くなったか？鑑賞中に寒気がしたか？など」について聞き取り。

- ② 消費電力

上映中のテレビの消費電力を比較する。